

Indonesia Weekly

2020年10月12日



(対象期間：2020/10/5～2020/10/9)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年10月9日)



【株式市場】

5日、ジョコ大統領が就任の際に掲げていたオムニバス法の雇用創出法案が議会で可決され、既存の規制の簡素化など投資環境の改善への期待からインドネシア株式市場は上昇しました。一方で、オムニバス法の成立に反対する労働団体による抗議活動が各地で発生しましたが、市場への影響は限定的でした。セクター別では建設・不動産以外のすべてのセクターが上昇し、特に金融が大幅上昇となりました。週間でも株式市場は上昇しました。

2020/10/2	2020/10/9	変化率
4,926.73	5,053.66	+2.58%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年10月9日)



【債券市場】

6日の国債入札での応募額は前回よりやや増加しましたが、引き続き低調となりました。しかし、外国人投資家からの持続的な資金流入を背景に入札結果発表後もインドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。その後、週末にかけて株式、通貨が堅調となった一方で、利益確定売りから利回りはやや上昇しましたが、週間ではわずかに低下しました。

2020/10/2	2020/10/9	変化幅
6.923	6.914	-0.009

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年10月9日)



【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。米トランプ大統領の病状や米国の追加経済対策の見通しを巡る懸念が後退し、投資家心理の改善が見られる中でルピアは堅調となりました。また、5日に可決したオムニバス法により海外からの直接投資の増加への期待などもルピアの上昇要因となりました。7日に発表された9月の外貨準備高は前月からやや減少しましたが、為替市場への影響は見られませんでした。

2020/10/2	2020/10/9	変化率
0.7063	0.7203	+1.98%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

